

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

村上市教育委員会

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

小学校第6学年、中学校第3学年

## 3 調査内容

## (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

## ア 出題内容

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問う。

## (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

## ア 児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

## イ 学校に対する調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 4 結果

## (1) 平均正答率

〈令和3年度〉	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
村上市	62	66	—	61	50	—	—
新潟県	64	69	—	65	56	—	—
全国（公立）	64.7	70.2	—	64.6	57.2	—	—

〈令和4年度〉	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
村上市	64	61	64	66	44	—	44
新潟県	66	62	63	68	50	—	49
全国（公立）	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	—	49.3

〈令和5年度〉	小学校			中学校			
	国語	算数	理科	国語	数学	英語	理科
村上市	67	61	—	68	45	38	—
新潟県	67	62	—	70	49	41	—
全国（公立）	67.2	62.5	—	69.8	51.0	45.6	—

※ 英語に関する調査は「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計値である。「話すこと」に関する調査結果は参考値として提供されているため、数値は公表せず分析に用いる。

## ア 小学校

- ・ 国語は全国平均と同程度であった。学習指導要領の内容別にみると、思考力・判断力・表現力における「話すこと・聞くこと」は全国平均を上回った。一方で、知識及び技能における「情報の扱い方に関する事項」が全国平均を下回った。正答数分布は全国平均と比較し、上位層が少なく、中位層が多い。
- ・ 算数は全国平均を下回った。学習指導要領の領域別では、「数と計算」「図形」が全国平均を下回った。正答数分布は全国平均と比較し、上・下位層が少なく、中位層が多い。
- ・ 問題形式別に見ると、「記述式」問題の正答率は、国語では全国平均を上回ったが、算数では全国平均を下回った。「選択式」及び「短答式」問題の正答率は国語・算数共に全国平均を下回った。
- ・ 国語では、漢字を正しく記述する問題、情報と情報との関係付けの仕方を理解し使う問題に課題が見られた。算数では、加法や乗法の混合した整数の計算、正三角形の意味や性質の理解について問う問題に課題が見られた。

## イ 中学校

- ・ 国語は全国平均を下回った。学習指導要領の内容別にみると、思考力・判断力・表現力における「書くこと」が全国平均を大きく下回った。正答数分布は全国平均と比較し、上位層が少なく中・下位層が多い。
- ・ 数学は全国平均を下回った。「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の学習指導要領の領域別にみると、全て全国平均を下回った。特に「数と式」「関数」が大きく下回った。正答数分布は全国平均と比較し、上位層が少なく、下位層が多い。
- ・ 英語は全国平均を下回った。「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の学習指導要領の領域別では、全て全国平均を下回った。特に「書くこと」「読むこと」「話すこと」が全国平均を大きく下回った。正答数分布は全国平均と比較し、上位層が少なく下位層が多い。
- ・ 問題形式別に見ると、「記述式」及び「選択式」問題の正答率は、国語、数学、英語において全国平均を下回った。「短答式」問題の正答率は、国語では全国平均と同程度であったが、数学で全国平均を下回り、英語で全国平均を大きく下回った。英語における「口述式（話すこと）」は全国平均を大きく下回った。
- ・ 国語では、読み手の立場に立って、叙述の仕方を確かめて、文書を整える問題や自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題について課題が見られた。数学では、反比例の理解を問う問題や、結論が成り立つ前提を、問題解決の過程を振り返り説明する問題に課題が見られた。英語では、言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く問題や、未来表現の肯定文を正確に書く問題に課題が見られた。また、聞かれたことについて考えとその理由を話すことができるかを問う問題に課題が見られた。

課題1 小学校、中学校ともに学習内容の確実な習得と、継続的な「書くこと」の指導

## (2) 学校別平均正答率

### ア 小学校

- ・ 国語において全国平均を上回ったのは、13 校中 5 校だった。
- ・ 算数において全国平均を上回ったのは、13 校中 6 校だった。
- ・ 国語の最大学校間差は、14 ポイントだった。
- ・ 算数の最大学校間差は、14 ポイントだった。

### イ 中学校

- ・ 国語において全国平均を上回ったのは、7 校中 4 校だった。
- ・ 数学において全国平均を上回ったのは、7 校中 2 校だった。
- ・ 英語において全国平均を上回ったのは、7 校中 1 校だった。
- ・ 国語の最大学校間差は、17 ポイントだった。
- ・ 数学の最大学校間差は、25 ポイントだった。
- ・ 英語の最大学校間差は、13 ポイントだった。

## 課題 2 学校間差の解消

## (3) ICT 利活用 ※質問紙結果

### ア 小学校

\* ( )は全国平均(公立)

\* 【 】はR5 より追加

質 問 事 項	R3	R4	R5
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度利用しましたか《ほぼ毎日の割合》	1.9 (11.2)	39.1 (26.7)	36.7 (28.2)
学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか《肯定的意見の割合》	95.3 (94.5)	96.7 (94.4)	95.8 (95.1)
【学校の授業時間以外に、】 普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のためにどの程度使っていますか《30 分以上の割合》	36.8 (41.4)	49.5 (43.8)	45.5 (41.1)

- ・ 授業において ICT 機器をほぼ毎日利活用している割合は全国平均を上回った。
- ・ 学校の授業時間以外に、ICT 機器を学習のために用いている割合は全国平均を上回った。

### イ 中学校

\* ( )は全国平均(公立)

\* 【 】はR5 より追加

質 問 事 項	R3	R4	R5
1・2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度利用しましたか《ほぼ毎日の割合》	3.7 (7.4)	29.4 (21.6)	27.0 (28.1)
学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか《肯定的意見の割合》	94.2 (93.2)	93.4 (92.6)	94.7 (93.3)
【学校の授業時間以外に、】 普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のためにどの程度使っていますか《30 分以上の割合》	35.4 (42.2)	37.6 (40.8)	29.2 (31.2)

- ・ 授業において、ICT 機器をほぼ毎日活用している割合は全国平均をやや下回った。
- ・ 学校の授業時間以外に、ICT 機器を学習のために用いている割合は全国平均をやや下回った。

## 課題 3 ICT 機器の授業における日常的な活用及び家庭学習における活用の推進

#### (4) 家庭学習 ※質問紙結果

##### ア 小学校

\* ( )は全国平均(公立)

質問事項		R3	R4	R5
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか		78.9 (74.0)	81.3 (71.1)	81.1 (70.7)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾等含む）	1時間以上の割合	67.3 (62.5)	68.0 (59.4)	66.5 (57.1)
	2時間以上の割合	11.0 (26.9)	13.5 (25.1)	13.7 (25.6)

- ・ 自分で計画を立てて家庭学習をしている児童の割合は全国平均を上回った。
- ・ 学校の授業以外に1日当たり1時間以上学習する児童の割合は全国平均を上回った。2時間以上学習する割合は全国平均を下回った。

##### イ 中学校

\* ( )は全国平均(公立)

質問事項		R3	R4	R5
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか		62.4 (63.5)	64.3 (58.5)	63.5 (55.0)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾等含む）	1時間以上の割合	70.1 (75.9)	64.9 (69.5)	66.0 (65.8)
	2時間以上の割合	19.3 (41.8)	14.5 (35.2)	14.4 (33.7)

- ・ 自分で計画を立てて家庭学習をしている生徒の割合は全国平均を上回った。
- ・ 学校の授業以外に1日当たり1時間以上学習する生徒の割合は全国平均と同程度である。2時間以上学習する割合は全国平均を下回った。

#### 課題4 家庭学習時間の増加と内容の改善

### 5 今後の取組

#### (1) 課題1・2の解決に向けて

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「村上市の授業づくり」を土台とした授業改善の取組を継続して推進する。また、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを記述したり、自己の変容が自覚できるような振り返りを記述したりする活動を推進する。（「村上市の授業づくり」に係る計画訪問、市学力向上研修会）
- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けるための取組を全校体制で推進する。（市校長会議における指導、市学力向上研修会）
- ・ 英語において、引き続き言語活動の充実に向けた取り組みを進める。また、小学校と中学校が連携し、指導内容や指導方法の共有を図る。（小中英語教員情報交換会）
- ・ 小学校、中学校ともに、国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」及び、「にいがた学びチャレンジ」を活用した校内研修を継続し、授業改善を推進する。（市校長会議における指導、市学力向上研修会）

#### (2) 課題3の解決に向けて

- ・ 教科等の学びを深めるためのツールとして ICT 機器を活用できるよう、児童生徒の情報活用能力の育成を推進する。また、児童生徒が自分で個別最適な学びができるスキルや協働的な学びに必要なスキルの育成を推進する。家庭学習においても活用できるようデジタルドリル等の活用を推進する。（ICT 推進リーダー情報交換会、授業づくり学校訪問、要請訪問、市学力向上研修会、市校長会議における指導）

(3) 課題4の解決に向けて

- 小学校、中学校ともに計画を立て家庭学習を行う取組を促す。終学活等にその日の家庭学習の計画を立てるプランニングタイムの実施、中学校区における家庭学習習慣やメディアコントロールの取組を今後も推進する。(市学力向上研修会、市校長会議における指導)
- 小学校における家庭学習の質的向上、中学校における家庭学習の量的・質的向上を推進する。家庭学習の目的や内容、進め方等について児童・生徒と共に見直しを図るよう働き掛ける。(市学力向上研修会、市校長会議における指導)
- 学校ごとに具体的方策を設定させる。年度末の「家庭学習実施状況調査」において成果と課題を明らかにする。各校の取組及び成果と課題をまとめて配布する。(家庭学習状況調査報告)